# 介護福祉事業部









## 愛生訪問看護ステーション

介護福祉事業部 看護管理師長 中川 美樹子

### **》特徴**

地域住民の身体悪化防止、生活機能維持・向上の要望に応えるため、看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の連携を強みに、365日、24時間対応体制で、訪問看護・リハビリを提供しています。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護では約2年が経過し、地域に根付いた訪問活動をして おります。

訪問地域は北区全域ほか可能な地域は全て受け、「在宅看取り」「他事業所対応困難」等の依頼を断らないことを基本姿勢としています。

### ▶2016年目標

 信頼できる看護とリハビリの提供 職員定着 人材育成 地域関連機関との連携強化

2) 組織の拡大

人員増員 収益の向上

### **愛生訪問看護ステーション**

項目	件数
連携医療機関(訪問看護指示機関)数	81
連携居宅介護支援事業所数	53
連携障害支援センター数	2
訪問延べ件数	12,547
内) 医療保険対応件数	2,690
内)介護保険対応件数	9,857
新規契約者数	75
利用終了者数	55

### あいせいケアステーション

管理者 船場 良介

### **》特徴**

平成26年10月1日に開設し1年余りが経過しました。職員数は開設時の3名から8名に増え利用者数の拡充につながっています。平成27年4月1日からは介護保険サービス、障害福祉サービスともに特定事業所加算IIの指定を受け、訪問する職員の間で利用情報を共有するため、サービスの要点や留意事項の連絡体制を整えました。より質の高いサービス提供のため職員個別の研修計画を作成するなど日々職員のスキルアップに努めています。

#### **2016年目標**

平成28年6月より名古屋市で始まる"新しい総合事業"に参加することで、予防支援サービス体制の充実を図ります。また、通院介助や行先の限定されない外出介助など、介護保険外サービスを提供するための体制を整え、幅広い利用者ニーズに応えていきます。これらの取り組みを居宅介護支援事業所やいきいき支援センターなどへ発信し周知を図ることで、訪問介護サービスを必要とされる方へより広くサービスを提供し、周辺地域への貢献を目指します。

# 総合上飯田第一病院

# あいせいデイサービスセンター

管理者 中野 正佐仁

### **》特徴**

利用者さまのアセスメントを重視し、利用者さまが「できるようになりたいこと」や「やりたいこと」を共に考え取り組み、できる喜びを分かち合えるよう、心身の状態に合った根拠ある生活期のリハビリを提供します。40代~90代の方まで幅広く利用されています。男性の利用者さまが多いこともあり、利用者さま同士で、お仕事の話で盛り上がられたりと活気のあるデイサービスとなっています。

### **》2016年目標**

利用者さまの自立支援を目指し、セラピストを中心としたチームで個別機能訓練の取り組みを充実させ、生活機能の維持・向上を図っていきます。利用者さまの地域の暮らしを支えるため、地域の団体やボランティア団体等と連携し、地域連携の拠点となれるよう生活相談員の活動を広めていきます。学生の実習施設としても、福祉大学・看護学校の実習を受け入れ、利用者さまにとって安心して楽しく機能向上が図れるデイサービスを目指していきます。

# 愛生居宅介護支援事業所

管理者 中嶋 拓

### **》特徵**

愛生居宅介護支援事業所は平成17年4月に CK ビル内にて再開し、現在7名の介護支援専門員(内5名が主任介護支援専門員)として、要介護要支援認定を受けた利用者さまを常時200名以上、担当させていただいております。

また平成20年には特定事業所の指定を受け、24時間の連絡・相談体制や地域包括支援センターからの支援困難ケースの積極的な受入れ、また個別研修・年間研修計画に基づく個々のスキルアップに日々努めております。

### **2016年目標**

あらゆるケースに対応すべく事業所内の研修、症例検討等を充実させ、介護保険だけでなく他サービスや地域の社会資源等を活用するため、法人内・地域と連携し、慣れ親しんだ地域で人生を全うできるよう支援することで、地域で信頼される事業所を目指してまいります。

また北区居宅介護支援事業者連絡会幹事やいきいき相談室の受託により、地域社会への参加を積極的に行い、地域包括ケアシステム構築に貢献できるよう努めてまいります。